

2009 年度旅行・鉄道研究部夏季旅行

# 乗るぜえ～・オブ・みのり

TOKYO-NIIGATA-YAMAGATA-SENDAI-NAGANO-UENO-NAGANO-TOKYO

高校 2 年 飯島 理裕

## ■ 最悪だあ～

旅行が始まるのは 7 月 31 日の深夜。ギリギリで行くには 22 時 51 分の電車に乗ればいいのだが、乗換時間が短いので 1 本前の 43 分に乗ることにした。家から駅まで徒歩 15 分、翌日の朝飯と飲み物を買いたいけどオオスウは既に閉まっているので、家の近くにあるセブンイレブンで買うことにした。買う時間も含めて家を 22 時 20 分に出ようと思った。

えきから時刻表で調べ終わって、ポケモン新幹線の時刻を調べていたら、もう 22 時 15 分! 最  
がなきゃ!

携帯の充電器しまっって一定期入れと財布をズボンのポケットにいれて一携帯もポケットにいれて一きつが類入っているかどうか確認して一ってやっってるうちに 20 分過ぎてる! やべえ! 前日の局地的な豪雨で濡れた靴が乾いているか確認。よし、乾いている。その靴を履いて家を出た。乾いてよかった。セブンイレブンで 100ml 増量むぎ茶 600ml とおにぎり 3 個を買って駅へ向かった。

駅のホームに着くと、41 分の電車が行ったばかりで、43 分の電車が接続待ちで止まっている。その電車に乗っていき、集合が大宮なので武蔵野線で南浦和まできて、京浜東北線の浦和乗換で高崎線に乗って行くことにした。武蔵野線に乗り換えようとしたところ、着いたのが 22 時 54 分、次の電車が 23 時 07 分。その前が 22 時 54 分で 41 分の電車なら間に合い、23 時 07 分のは 51 分のと接続する、例のギリギリ 11 分である。41 分に乗ればよかった。ギリギリ 11 分は南浦和の乗換時間が 2 分と余裕なし。武蔵野線のホームで EF64-1012 牽引の貨物列車が通過し、しがみついたら早く着くのかなと思いつつ、07 分の新習志野行きに乗り、南浦和を 2 分で乗換え、浦和に着いた。

序章

幸先の悪いスタート

# 1 最安値ルート

## 【7月31日(金)】

横浜・新宿方面から

大 船 22:09～  
横 浜 22:26～  
新 宿 23:00～  
赤 羽 23:15～( 湘南新宿ライン 普通 小金井行き )～23:28 大 宮

品川・上野方面から

品 川 22:32～( 京浜東北線 普通 大宮行き )～22:51 上 野  
上 野 23:07～  
赤 羽 23:17～  
浦 和 23:26～( 高崎線 普通 新前橋行き )～23:33 大 宮  
(流れ集合)

## 【8月1日(土)】

大 宮 00:01～( 急行 能登 金沢行き )～01:03 高 崎  
高 崎 01:13～( 快速 ムーンライトえちご 新潟行き )～04:51 新 潟

### ■ 不覚…

浦和で宇都宮線・高崎線ホームに行くところ、なんか混んでる!新前橋行きが来ると、車内激混み!こんな時間まで通勤ラッシュとは…。大宮8番線に着くと、反対の9番線まで列が…。予想外デス。集合場所である宮原寄りの階段に行ってみると誰もいない。いつも鉄研旅行はホーム端に集合するのでホーム端に行くところ、いた!親友である石井雅博君(以下雅博)とも合流。

飯島「何で階段のところにいないんだよ」

雅博「だって邪魔になるし」

確かに…。全くの想定外だった。

来た時には部員は全員来ていた。鉄研部員は東京都民と神奈川県民がほとんどなので大宮までの電車を書いてみたのだが、それよりも前に来たようだ。あと来ていない人は、同じ埼玉県民である西島先生だけだ。川越線で行く、とか言っていたから与野本町まで寝過ごしたのか?23時40分頃、西島先生、参上。

飯島「あれ? 与野本町まで寝過ごした?」

西島「いやいや寝過ごしてないよ。」

寝過ごしてはいないようだ。7番線には185系、ホームのない10番線にはEF64-1012牽引の貨物列車が止まっている。…ん?さっき見たよ、EF64-1012!やっぱり飛びつけばよかったか…!?

## ■ いや乗車!

今回使用するきっぷは土日きっぷ。土・休日 2 日間有効で、JR 東日本管内で北は酒田、湯沢、古川、小牛田、女川までの普通・快速・急行・特急の自由席が乗り放題!指定席は 4 回まで取れ、さらに伊豆急行、北越急行も乗れるすごいきっぷである。(こども 3000 円、中高生 9000 円、大人 18000 円)※なお寝台列車、ホームライナーは運賃のみ有効

急行能登は大宮発が土曜日の 0 時 01 分なので土日きっぷが使える!ということで乗車。高崎線はあんな時間までラッシュなので、急行券を払って帰宅するサラリーマンも多い。座席に座ると、ああ柔らかい…寝てしまいそう…いや、寝たら終わりだ…寝たら金沢に行っちゃおう…。

このあとは高崎で降りてムーンライトえちごに乗り換える。なぜこんな面倒なことをするのか?下の図を見れば分かる。

(例)新宿から土日きっぷを使ってムーンライトえちごに乗る場合

新宿                      大宮                      高崎      至新潟

①ムーンライトえちご(新宿→高崎¥1890)→→→(土日きっぷ利用)→

②湘南新宿ライン(¥450)→能登(土日きっぷ利用)→えちご→→→

ねっ?②のほうがおトクでしょ?え?分かるかい?金曜日分の運賃はそのままえちごに乗るより、大宮～高崎間を能登を使えば安く済むってこと。

## ■ 高崎での悲劇

高崎に着くと、写真を撮りに行くために先頭へ向かった。乗換え時間は 10 分とそんなに時間がない。カメラ(一眼しつ)の電源をつけてると電池切れ!?ちゃんと充電したはずんだけどなあ…。単三電池 4 本使用なので他の充電式の電池 4 本を取り替えても電池切れ。最後の望み、エネルギー!セット!…めめめめめめ!!で…電池切れ…。オワタ orz しかたなくコンパクトデジカメサイバーショットで撮ることにした。先に撮り終えた雅博に荷物を預け、ダッシュで能登を撮り、ダッシュで反対のホームへ行きえちごを撮り、ダッシュで戻った。

撮り終わったところでえちごに乗車。指定券売から 4 日経ってから取ったので、まとめて取ることができず、全盲バラバラになった。2 号車、3 号車、4 号車に別れ、顧問 2 人と同じ 4 号車となった。座席確認のためにきっぷを出そうとすると…あれ?きっぷ、きっぷ…ない!?え、うそ!?まさか能登に置いてきたとか?えーない、どーしよー!!



489 系急行能登(2008.12.21 上野)

平日はホームライナー運用もある



能登の車内



485 系快速ムーンライトえちご(高崎)

今年 3 月のダイヤ改正で臨時列車に



ヘッドマーク(高崎)



## Bコース

新潟 04:54～( 白新・羽越本線 **快速** 村上行き )～05:35 坂 町  
**自由行動**  
坂 町 07:17～( 米坂線 普通 米沢行き )～09:56 米 沢

### ■ ツいてないー夜が明けて…

え?きっぷ?あったよ。違うところにしまってたただけだし。そんなことよりもそれからが大変だったんだよ。席は5番C席。しかし男の人が座っている。隣のD席には金髪の女性(若くはない)が既に寝ている。C席に座っている人が持っている指定券は5番D席。どうやらD席に座っている女性が間違えているようだ。そのことを検札に来た車掌に伝えると、2つ復元の3番B席が空いているのでそこに座るように言われた。すると「僕が行きましようか?」とC席に座っていた男性が移動してくれた。なんか申し訳ない…。リュックを棚に載せようとした瞬間、飲み物を入れるポケットから100ml増量むぎ茶600mlが落下。よく見ていなかったが金髪姉さんに当たったようで、「すみません。」ととっさに謝った。しかし金髪姉さんは睨んできた。感じ悪ッ!それだけではない。いろいろとバカからいろいろ物を出し入れする時に発するビニール袋の音を「うるせーな」という目で睨んでくる。何なんだよ、アンタ席間違ってたんだよ!

### ■ 新潟から分かれて行動

到着6分前、4時45分にセットしたアラームが鳴った。目の前を通った記憶がうっすらあるが、金髪姉さんは既にいなかった。寝る前に洗面台のカミハリ用コンセントにさした電池の充電器を回収し、一眼にセット。隣のB席でまだ寝てる西島先生を起こす。

4時51分。定期通り新潟に到着。分かれていた他の部員と合流した。

ここからは、越後線、存彦線に乗り、急行きたぐにで新潟へ戻り、米坂線經由でかみのやま温泉に寄って山形へ行くAコースと、先に米坂線經由でかみのやま温泉に寄って山形を観光するBコースに分かれて行動する。事前調査の結果、Aコース14人、Bコース3人になった。…ってBコース少なさ!やっぱりきたぐにか?自分を含むBコース班は隣のホームの快速村上行きに乗り、Aコース班は階段を渡って越後線吉田行きに乗った。Aコースでの出来事はこれの後に雅博が書いてくれるので、そちらを参照に。

さて我々は快速村上行きの車内。この快速村上行きは、ムーンライトえちごが村上まで伸びていた時代の名残で、E127号2面×3本の6面編成とえちごと同じ面数である。西島先生、オシ、高2部員、中三部員の4人は、オールロングシートの座席に座って坂町へと向かった。

## ■ 坂町の6時

列車は定刻に坂町に到着。米沢行き列車はまだ来ていない。とまあえす改札を出ることにした。駅舎を出ると、車が一台もないロータリー、シャッターが並んだ商店街。駅に繋がっている唯一の道路なのに、車も人も見かけない。坂町の6時って何も無いなー。

とまあえす通りを歩いてみることにしてみた。車も人も見かけず、とにかく何も無い。車が来ないので、車道の真ん中をしばらく歩いた。そして、国道に出た。スーパーはあったが閉まっている。結局何も無い。しょうがない、戻るか。

何も無い通りを歩いて坂町駅に到着。駅舎からロータリーを挟んで向かい側にあるヤマザキショップ(まだやってない)のところに自動販売機があるのだが、ヤマザキショップオリジナル商品で全品100円である。その中に500mlペットボトルのオシロジュースといんごジュースが売っていた。500mlオシロが100円で売ってるなんて見たこと無い…。思わず買ってしまった。さあ駅に戻ろう。

以上、坂町の6時でした。

## ■ じもとのおじさんが あらわれた!

※ここからはポケモン風でお楽しみください

Bチームは さかまちえきの まちあいつに ついた。

いいじまは オシロジュースを のんだ!

いいじまは 30 かいぶく した!

いいじまは おにきを たべました!

じもとのおじさんが あらわれた!

じもとのおじさんの 「にいがたべん」 こうげき!

こうか は ぼつぐんだ!

にしじまの 「ひょうじゅんご」 こうげき!

じもとのおじさんには こうかが ないようだ…。

にしじまは にげだした。

いいじまは おにきを たべている。

こう2ぶしんの 「なんとかたいおう」 こうげき!

のほりでんしゃ 「せきや」 いきが きた。

じもとのおじさんは にげだした。

このあと、485 早いなほと 115 早開屋行きとキハ 110 早酒田行きを撮り、米沢行きのキハ 110 早気動車に乗った。

乗るぜえ〜オブ・みのり



E127 系快速村上行き(坂町)



485 系特急いなほ(坂町)



115 系「せきや」いきでんしゃ(坂町)



米坂線キハ 110 系(坂町)

「天地人 直江兼継紀行」と兜の「愛」でデザインされたヘッドマーク



米 沢 10:24~(	奥羽本線	<b>つばさ 105号</b>	山形行き )	~10:50	かみのやま温泉
<b>自由行動</b>					
かみのやま温泉 12:20~(	奥羽本線	普通	山形行き )	~12:33	山 形
<b>自由行動</b>					

### ■ かねたんキーホルダーを求めて

気づいたら米沢だった。いつの間にか寝てた。というわけで米沢と一チャーク!

改札を出ると、「天地人博 2009」の垂れ幕が…。やってるなー。駅を出るとモニュメントにも天地人博の広告が…。会場は「伝国の杜【米沢市上杉博物館】」だそうです。駅に入って右側に待合室、その奥には NEW DAYS、右側には手前からおみやげ屋、そば屋、左側には観光案内所でかねたんと天地人でいっぱい。駅弁屋はなぜかロータリーの向かい側にある。さあ頼まれたかねたんキーホルダーを探そう! あ、「かねたん」っていうのは米沢市のマスコットキャラクターで、ホームページで調べれば出てくるのでそちらを参照に。

次の山形方面の電車はつばさ 175号山形行きが 10時3分発。運転日注意の臨時列車である。これならかみのやま温泉に早く着ける。早くかねたんキーホルダーを探さねば。でもなかなか見つからない。探しているうちにつばさ 175号は行ってしまった。まあ、いいか。その復発見し無事に購入。他のキーホルダーと断れてたな。

### ■ 最近の新幹線はすごい

改札に入り、ホームで待っていると、1番線につばさ 105号、山形行きが到着した。E3 系の中でも最近製造された車両である。窓側にはコンセント、棚の下側には読書灯がついている。読書灯なんかグリーン車にしかついてないぞ。最近の新幹線はすごいな。コンセントがあるから早速じゃーんと…ますエネリーブと…お、2つ必要だな。でも差込口が1つしかないな…いや、タコ足しちゃえー! ってことでタコ足配線しちゃいました。いやー快適だ。このまま山形まで行きたーい。けどかみのやま温泉で降りなきゃ。ということでかみのやま温泉に到着。エネリーブは完全に充電はできませんでした。

奥羽本線福島～新庄間(愛称:山形線) 在来線では珍しい標準軌

日本の鉄道は、主に挟軌(線路幅が 1067mm の線路)と標準軌(線路幅が 1435mm の線路)に分けられる。JR では新幹線は標準軌、在来線は挟軌が採用されている。

しかし山形線では新幹線が通る在来線なので標準軌が採用され、普通列車は標準軌用の台車になっている。このため他の在来線の運用に就けず、山形線専用の車両となっている。こまちが通る田沢湖線も山形線と同様であるが、奥羽本線大曲～秋田間は挟軌と標準軌が並んだ複線になっている。

## ■ 大悟の実家

かみのやま温泉を降りると、平面のト形さんが浴衣姿でお出迎え。横には「いらっしゃいませ ようこそ かみのやま温泉へ」という看板が。なぜに浴衣?そして1体だけ貼られた顔がずれてるし。看板の「きて、よかった!」っていうのは…。気に入らない方がいいのかな?

駅舎を出ると随分新しい駅舎ですな。モニュメントには「歓迎 上山温泉郷」と書かれ、左には「温泉と城と茂吉のふるさと」。上山市は斎藤茂吉の故郷で、斎藤茂吉記念館があり、かみのやま温泉と蔵王の間に「茂吉記念館前」という駅があるほど。今回は行きませんが。

さあ風呂だーと共同浴場を探して歩いていると、川の手前で映画「おくいびと」のロケ地が…。あるって事は知ってるけどここにあるとは…。とまあ撮影。看板を読むと主人公の新人納棺師・大悟の家として出てくるらしい。ロケ地は主に酒田市で行われ、上山市では唯一のロケ地となっている。「美香の気分ではいポーズ!」と書かれた台があり、カメラを載せると映画の1シーンが撮れるらしい。で、撮った写真は右にあるアし。早く共同浴場に行こう。

## ■ 熱いよ二日町共同浴場

川を渡ると、二日町共同浴場の看板が。意外と近いな。看板を頼りに細い道を歩く。歩いて歩いて左に曲がったら、二日町共同浴場に到着。結構遠い…。早速入ろう。上山市の共同浴場は入浴料は100円だが、洗髪料が100円で体を洗うのには別に払わなければならない。でも合計で200円は格安である。こちらは旅行前に調査済み。二日町共同浴場は2つの湯船があり、普通の温泉と地元の人でもめったに入らない熱湯温泉がある。これも調査済み。

体は洗ったし、早速風呂に入ろう!もちろん普通の方。さあ入るぞー…つつあちいいー!熱いぞ!普通がこんなに熱いとは…。熱湯の方入ったら死ぬな。地元の人が気持ちよく入っているところ、東京から来た方々は大苦戦。耐えられぬ…。10分くらいで出た。いやー熱かった。

このあと4人で飲みものを飲んで休憩し、二日町共同浴場を出た。浴場に貼ってあった時刻表から12時20分の普通列車に乗ることにした。12時20分発普通列車山形行きは3番線。階段上った3番線で待っていると、719号の山形線用5000番代の山形行きが来た。車内を見ると、見慣れた顔が…。アコーアのやつらだ!ということは…あーいいたい!おーい雅博!いろいろ話して風呂熱かったって事を最後に言って、我々3チーは山形を目指した。

乗るぜえ〜オブ・みのり



来年1月11日まで開催(米沢)



E3 系つばさ(米沢)



「おくりびと」スナック和



二日町共同浴場



719系5000番台(山形)

# 4 乗るぜえん・オブリ・みのり

Aコースのチームと合流					
山形	13:34~(	奥羽本線	普通	新庄行き	)~14:41 新庄
新庄	14:56~(	快速	リゾートみのり	仙台行き	)~17:37 仙台

### ■ 15分で焼肉

山形に到着。メシだー!何食べようか。100円バスを使うけど「冷しラーメン」ってのがあんな。でも100円バス行っちゃった…。時間が無いな。

バス停の近くの飲食店街の看板に「カルビ食べ放題」の看板が!これにする?  
 なんやかんやで西島先生の2人で行くことになった。焼肉店に入って早速カルビ食べ放題を注文。…注文したのはいいけど、なかなか来ない。時計は午後1時を過ぎている。ああ早くしないで!ギリギリを想定してきつぷを用意しよう…と西島先生がきつぷがない騒動を!発見場所はズボンの後ろポケット。こういう時ってしまった場所を忘れる自分に腹が立つよね。って言ってる時カルビが来た。時刻は1時10分。とんとん焼いちゃえー!焼いて食って焼いて食ってで所要時間約15分。34分の新庄行きに間に合う。

### ■ Aチームと合流

食べなかった2人と山形駅で合流。1人は米沢で買った駅弁を山形行きの車内で食べ、もう1人はハンバーガーを食べたそう。さあホームへ行こう。エスカレーターを下っていくと、もう列車が入っている。けっこう混んでるな。車両は東北の209系、701系で、山形線用の5500番台である。なぜ東北の209系かっていうと、制御装置が同じで、ロングシートのところが似ている。側面がまっすぐなのも同じ。とにかく似ている。「東北の209系」っていうのは勝手に付けたあだ名だが…。

Aチームが乗ってくる山形行きの電車は到着していたので、もう乗っているはず。お、いた。ひさびさに雅博と合流。そして2両編成の電車は発車した。なんで増結しないんだろう?あ、そうそう、風呂熱くなかった?

雅博「まあ最初は熱かったけど慣れたよ。」

なにを〜!あの熱さで!?!とろんな会話をしながら席が空くのを待った。

新庄行きは天童に着いた。結構な人が降り、席が空いた。はぁ一座れた。その後モトが降り、新庄に着くころには半分くらいの席が空いていた。増結してない理由が分かったよ。ということで新庄にとーちゃーくと…あ、もうみのりがいるではないか!



(左)  
701系5500番台(米沢)  
(右)  
陸羽東線の車窓







みのり側面ロゴ(新庄)

リゾートみのり(左)と陸羽東線キハ  
110系(右)(鳴子温泉)

### ■ リゾートみのり

さあみのりに乗るぞ!あ、この文章のタイトル、「乗るぜえ～オブ・みのり」は元ネタがあります。

そんな事はさておき、ここでリゾートみのりについて。リゾートみのりはキハ48号改造の3面編成で、運転室の前には展望スペースがあり、中間車にはテレビ付きのイベントスペースがあり、日によってはイベントが行われる。この日はイベントは無かったが、テレビでは宮城県観光案内が流れていた。すごいのはこれだけではない。座席はシートピッチ1200mmと超ゆとり設計。広々とした窓で車窓を楽しめる。これでムーンライト号で走れないかなー。これだったら寝れるなー。そういうわけにはいかないかなー。でもど湯いてきたな。さっきお茶飲みきたからな…。車販は今日はないみたいだ。停車の間で買うことにするか。

発車してまもなく、最前部の展望スペースに行った。行ってみるとおじさんが三脚立てて前面展望のビデオを撮っているではないか!迷惑だ…。しょうがない、記念スタンプを押して戻った。

車窓を覗くと、青々とした田んぼが広がり、奥には緑の山々。田舎って感じだねー。東京じゃこんな風景見られないし。まさに日本の原風景だ。…でも通路側だ。しかも窓側は空席。隣に知らない人来る。同じ状況の雅博を見ると、鞆鞆にタオルを吊るして干している…って何やってんだ!

ということで、最後部の展望スペースに来た。もちろん雅博も一緒。

中山平温泉と鳴子温泉の間に鳴子峠を通るのだが、トンネルを抜けると峡谷の中間あたりの高さから出てまたトンネルに入るその間に絶景が広がるという。これは撮らねば。と、撮って写真を見ると、川の真下を撮っていた。やっちゃった!というよりなぜこんなアホを!?!のほうが強い。

雅博と展望スペースでくつろいでいると、鳴子温泉に到着。5分間の停車である。よし写真撮るぞ。グッシュで反対のホームに行き、写真を撮ってまた戻る。よし撮れたぞ。あ、飲み物買うの忘れてた。もう時間無いし、次の駅で買うか。

結局、このあと長めの停車は無く、陸羽東線の終点・小牛田の自販機でお茶を買った。ああ、溜う。

この日は仙台まで延長運転なので、仙台まで乗ってそこから新幹線に乗り換えることになっている。



仙 台 18:05～(	<b>はやて・こまち 24号</b>	東京行き	)～19:22 大 宮
大 宮 19:30～(	<b>あさま 543号</b>	長野行き	)～20:43 長 野
<b>自由行動</b>			
長 野 22:24～(	信越本線	普通	直江津行き )～23:52 直江津
<b>自由行動</b>			

■ 大移動のワケ

これから仙台から新幹線を乗り継いで直江津に行き、能登に乗って上野に行く、というルートである。

上野から能登に乗ればいいのに、なぜこんな面倒な事をするのか？金沢行き直江津着は4時13分と早いため、寝過ごしてしまう可能性が高い。実際、3年前の春の鉄研旅行で上野から直江津まで金沢行きに乗って寝過ごしそうになった。あれから夜行列車は途中下車をしない、ということになった。

■ 唯一の仙台連絡

17時58分、はやて24号が先に到着、とここで疑問に思った方がいるはず。通常、はやてとこまちは盛岡で連絡するが、このはやて・こまち24号は仙台で連絡するのです！盛岡発のはやては各駅停車で仙台まで来て、秋田発のこまちは盛岡～仙台間ノンストップで到着し、はやてとこまちは連絡。しかも定期運行では1本のみ。仙台での連絡はなかなかのレアである。18時ごろ、こまちがホームの手前で停止。これから連絡だ。駅員が無線誘導、こまちがゆっくりとホームに入ってくる。30m手前、5m手前、一旦停止。異常なし、連絡開始。…ガシャン、連絡終了。連絡っていいねー。

指定席の関係ではやてとこまちで分かれることになった。自分はこまち、雅博ははやて。大宮でまた会おう。こま치의15号車に乗り、洗面台のコンセントに充電器さして、やることも無いので携帯に入っている音楽を聴いた。

もうすぐ大宮、というところで花火が見えた。方角から川越のほうかな？

■ やっちまったな！

大宮に到着後、あさまに乗り換えるために14番線から18番線に移る。18番線から外へロータリーを見渡すことができるが、盆踊りの大会のようなものがやっている。音楽がホームにまで鳴り響き、歩道橋には見物客が大勢いる。とこでふと思ひ出す。あ！充電器さしっぱで降りちゃった。やっちまった～…。

あさまの1号車自由席に乗車。早速デッキでお客様センターに電話だ！あの一充電器を忘れたんですけど…。「明日の10時にならないと分かりませんね。」また明日電話しよう。



E2 系はやて(仙台)



E3 系こまち連結中(仙台)



115 系長野色臨時列車(長野)

## ■ 帰宅ラッシュ@長野

長野に到着し改札を出ると、人がすごい。しかも浴衣姿が目立つ。出口付近の垂れ幕を見ると、七夕祭りが行われ、この日が最終日だった。なるほど、そういうことか。

おし、雅博含む高2部員3人と西島先生でそば屋を探していると、駅前でがうがうのそば屋を発見。そこでそばを食べ、時間があつたのでマクドナルドでヨーグルトシェイクを飲み、22時頃店を出た。もう座れないかな？

改札に来ると、電光掲示板の篠ノ井方面に臨時の文字が!まあ人がたくさんいるにしろ、でもなかなか臨時なんて見ないよ。なかなか貴重である。

22時24分直江津行きに乗ると、結構な混雑ぶり。やっぱり浴衣姿が目立つ。車両は115系というロングシートと一般にボックスシートと呼ばれるクロスシートのセミクロスシートの近郊型電車である。最後部まで進み、それでボックスシートは空いていなかったでロングシートに座った。窓越しから向かい側のホームを見ると、篠ノ井方面の電車が止まっていて、手前には乗っている電車と同じ115系長野色の臨時、向こう側には同形式だがしなの鉄道所有の専用塗装の車両。しなの鉄道の方は入線前、ホームの端まで2列で並んでいるのが見え、扉が開いて列が無くなると混雑した車内が見えた。こっちの倍以上はある。窓を開けて隣の臨時を撮影。夜なのでカメラを置いて撮らないとづる。で、撮った写真が右上。写真の左下には「臨時」の方向幕を入れた。

臨時列車、しなの鉄道車両が発車した後、直江津行きが発車した。長野から2駅目の三才でボックスシートが1軒空き、そこから駅先の妙高高原ではもうがうがうだった。

## ■ スイッチバックの駅

しばらくすると、二本木という駅に近付いた。二本木は停車する際にスイッチバックする駅である。スイッチバック駅は坂の途中にあり、登坂力の小さい機関車牽引列車が坂の途中で停車するのを避けるために、平坦な場所に駅を作り、坂の向かい側に引込線を設けてある。しかし残念なことに、車両性能の向上によって運転取扱の合理化のために廃止する駅が増えている。

この駅は下り坂から来た電車は駅に入ったあとバックで引込線に入りまた坂を下るというルートをとる。二本木駅は下り坂側にある。二本木に到着し、いよいよスイッチバックだ。電車はゆっくりと復路に下がり引込線に入った。しばらくしてまたまとの方向に発車した。

もうすぐ直江津だ。到着予定時刻は23時52分。あと8分で1日が終わる。



# 6 夜の国鉄型車両

【8月2日(日)】

直江津 00:31～( 急行 能登 上野行き )～06:05 上野

## ■ 最古号の日本海

直江津行きの車内で能登の時刻を確認すると、「日本海」の文字が見えた。直江津の時刻を確認すると、23時50分着・23時56分発。日本海が撮れるではないか!

寝台特急日本海は、1968年(昭和43年)10月、いわゆる「コン・サントオ」と呼ばれるダイヤ改正で誕生。ブルマン式と呼ばれる開放式A寝台とB寝台の構成で、1976年(昭和51年)には2往復体制に。しかし、1980年(昭和55年)に編成変更でB寝台のみのモノクラス編成となった。1988年(昭和63年)3月13日の青函トンネル開通で1往復が函館まで延長、もう1往復は開放式A寝台が復活。1998年(平成10年)改正で函館発着の列車に個室A寝台が組み入れられたが、2006年(平成18年)3月改正で函館発着が廃止で1往復となった。JRになってから寝台列車の個室化が進んだが、個室なしでがんばっている日本海はすごい。日本海縦貫ルートは新幹線と無縁の存在というのも1つの理由でもある。

直江津のホームに入ると、青い車体に白い線の入った車両が見えた。日本海である。先頭へ急げ!扉が開くと先頭へ向かって走った。先頭に行くと、3人の先客がいた。前よりに止まっているため、全体を撮れる場所が少ない。何とか探して撮影。無事に撮れた。

## ■ 深夜の直江津

撮り終わり改札を出ようとする、自動改札機の電源が切れている。さっきまで動いていたらしく、0時になると切れるようだ。3年前の鉄研旅行で来た時も切れていた。朝飯を買っておきたいな。売店は閉まっているし、あの時行ったセブンイレブンに行くか。

近くにセブンイレブンがあることを部員に教えると、ほとんどの部員が付いてきた。大勢で行くから話しながら行く。深夜なんだから静かにしろ!歩いても着かないので「まだ～?」というクレーンが聞こえてくる。近いとはいえ結構歩く。

ちょうど中間あたりだろうか。ほら、看板見えたよ。「え～?あそこまで歩くの?」と言い、ほとんどの部員が駅へ帰ってしまった。残ったのは自分を含む2人だけで、その2人だけでセブンイレブンで買って帰った。まったく、しょうがないやつらだ。

## ■ 能登、再び

これから能登に乗る。またか。でも今度は能登で寝る。直江津では0時24分着・0時31分発。停車時間は7分。よし、撮れる。またホームの向こう側に行って撮るぞ。

雅博と一緒に撮影場所に行った。日本海と停止位置が同じなので、先客の3人が固定位置にいた。計5人がホーム端で能登を撮影することになった。先客がいい位置にいる。何とか間を見つけて撮影。そして急いで能登に乗車。6号車自由席&ラウンジに乗った。何とか間に合った。

急行能登は、1959年(昭和34年)7月に臨時急行「黒部」として誕生。経由は碓氷峠を通る信越本線を通っていた。碓氷峠は補機を必要とする峠であるが、こちらを通った方が早く着くからである。1968年(昭和43年)に急行「北陸」に統合され、今と同じ上越線経由になった。1975年(昭和50年)3月改正で「北陸」の寝台特急格上げにより、従来の急行には「能登」の名前が付けられた。1982年(昭和57年)11月に上越新幹線開業で再び信越本線経由となった。1993年(平成5年)3月改正で現在の489系電車となり、1997年(平成9年)10月の長野新幹線開業により碓氷峠の信越本線軽井沢～横川間の廃止で再び上越線経由になった。新潟県中越地方の2度の地震で運休になるも、数少ない急行列車として残っている。

能登の車内で特徴なのは、ラウンジである。特急「白山」用に4両が窓4枚分のスペースがラウンジになり、自販機もある珍しい設備である。

ラウンジには中3と高2で、他は3号車指定席にいた。座れないと悲惨だと思いき、指定を取ったのだが、自由席はがう。取る意味なかった、ゴメン…。

携帯を充電するために、自販機のコンセントの隣に4口あるタコ足コードをつなげた。差込口はあと3つあるので、自分の携帯の充電器をさしてやる。みんな電気に飢えてる…。

眠い…。中3は大富豪をしているが、俺は寝かせてもらおう。6号車の座席で寝よう。座席を回転し、4つの座席を1/4回転させて、そこでねころがると、結構いい。あ、アラーム。携帯のアラームをかけなければ。充電中の携帯を取り出し、アラームをセットして寝た。Zzz…。



寝台特急日本海(直江津)

客車は24系、24系25形の混用



急行能登(直江津)

代用で「はくたか」に就くことがまれにある



上野 06:17~(山手線 内回り 田端・池袋方面行き)~06:41 新宿  
新宿 07:00~(特急 スーパーあずさ 1号 松本行き)~07:29 八王子

自由行動

八王子 08:01~(八高線 普通 川越行き)~08:54 高麗川  
高麗川 09:06~(八高線 普通 高崎行き)~10:38 高崎

■ 気づいたら上野

むくっと起きた。時計を見ると、6時7分。どっかの駅に停まっている。えーと…駅名は…「うえの」…あ、やっぱり上野じゃん! 降りなきゃ!!

荷物をまとめてううんじに寝ている雅博を起こして急いで降いた。他の部員は3号車付近で待っていた。

これから山手線に乗って新宿へ行き、そこから特急で八王子へ行って八高線に乗る。新宿から八王子まで特急を使うのは土日きっぷだからなせることで、普通の鉄研旅行だったら中央特快を使っている。ちょっとした警沢である。

■ スーパーあずさ

新宿の10番線中央線特急ホームにやってまいりました。これからスーパーあずさ1号に乗車、車両はカーブの頃頃くっついて、いわゆる振り子式のE351号。

12両編成で自由席は3両分。結構並んでいる。扉が開き順々に入り、何とか座れた。乗車率は既に90%以上。発車する時には立ち席客もいた。

カーブ時に窓の外から車両を見ても、傾いているのかな? けっこう直線区間が多いから、傾いているか分からない。さあ、メシを食おう。直江津で買ったおにぎりを食べる。ああ、眠いな。でも八王子で起きる保証が無い。

そして7時29分、八王子に着いた。電池を買いたいな。

■ 八王子の7時

まず、電池を買って復活させたい。キオスクは高いから、100均か電気屋があれば助かる。駅ビルの開店は10時からと書いてあったので、外に出てみた。

北口に出てみると、ロータリーをビルが囲み、ロータリーから放射線様に道が伸びている。そのビルを見て回ったが、どこも10時開店とかで、まだやってない。もうなんか面倒くさいや。駅に戻ろう。そうだ、反対側はどうなんだろう?

南口に出てみた。駅前が開発中、つまり何も無い。もうホームに戻ろう。

## ■ 旅の定番・八高線

1番線に川越行き4両編成の電車が到着した。車面は209系3100番台、いんかい線70-000系の先頭車を買って作られた車面である。車内もいんかい線と同じ仕様になっている。よし、停車場用の写真を撮ろう。一眼の電源をつけると、電池切れ表示。死んだ…。でもここまでよくがんばった。コンデジとボタンタッチ!

外は小雨が降りだし、曇っていて少し暗い。ぶしはしないが、この先が少し不安だな。天気予報では2日間とも曇り。でも山形は晴れたし。まあ、大丈夫か。

八高線は、高麗川～高崎間は気動車が往復し、川越線と直通運転で八王子～高麗川～川越間は電車が走っている。同じ路線なのに区間で運転系統が変わり、不思議な路線である。

なので高麗川で乗換え。高崎行きは隣のホームに来るとのこと。待っていると、3両編成の気動車が入ってきた。2+1列のボックスシートは、2人掛けは既に座っていたので、1人掛けのほうに座った。



E351系スーパーあずさ(新宿)



209系半自動扉仕様(八王子)

## ■ お昼寝列車・八高線

八高線では寝ないようにした。車武が見たい、ただそれだけ。越生は越生線、小川町・寄居は東上線の乗換駅である。

越生に着いた。しかしホームに東武の車面は無かった。次、小川町。ここは停まっていた。次、寄居。お、ここも停まっている。寄居は秩父鉄道の乗換駅でもあるが、秩父鉄道の車面は停まっていなかった。対向列車との行き違いで3分ほど停車していたので、外に出て写真を撮ることにした。

対向列車と行き違い、列車は発車した。寝てる人が多いな。疲れてるんだな。眠かったが、寝る気はしなかった。終点までずっと起きていた。

高崎に着く手前に、引込線から115系が出て行くのが見えた。115系は隣を併走するかのようには走っている。行き先は大前。1日に5本しかない列車だ。その中の1本で、しかも3月に乗った列車だった。

高崎に到着。大前行きは別のホームに停まった。あ、電話しないと。



キハ110系八高線用(寄居)



115系湘南色(倉賀野～高崎)



高崎 10:47~( <b>たにがわ 405号</b> 越後湯沢行き )~11:17 越後湯沢
越後湯沢 11:38~( <b>特急 はくたか 8号</b> 金沢行き )~12:30 直江津
<b>自由行動</b>
直江津 13:11~( 信越本線 普通 妙高6号 長野行き )~14:47 長野

### ■ 200 豆ポケモン新幹線

高崎駅新幹線ホームにやってきた。たにがわに乗って越後湯沢まで、自由席利用なので復路のほうで待っていた。

そして、たにがわ 405号 200 豆がホームに入ってきた。ん？何かラッピングしてある…。ポケモンだ！ポケモン新幹線だ！8月2日分は調べられないからノー情報だった。しきりに側面を撮影。でも、車内は普通の新幹線と同じ…じゃなかった！モケットにピカチュウが！でもそれだけ。ほかは同じだった。

あ、電話電話…。再びお客様センターにかけろ。「しばらくお待ちください。」保留中になった。と、そこでトンネルに突入。切れた…。トンネルが抜ける気配がないから越後湯沢に着いたら電話しよう。

越後湯沢に到着し、1番線に移動した。はくたかが止まっていたが、扉は閉まっていた。電話しよう。3度目のリベンジ。結果、東京駅の忘れ物センターで保管されているとのこと。よかった～あって。

### ■ 電 GO!でおなじみ・はくたか

電話中に扉が開いた。車両は北越急行所有の681・683 豆で、今回は前6面が681 豆、後3面が683 豆であった。電 GO!でおなじみのほくほく線だが、今回は越後湯沢から乗車。

はくたかは発車し、六日町を通過していよいよほくほく線へ！

途中、十日町に停車した。十日町の次は直江津に停車。ほくほく線は新幹線を喰くと営業運転で最高時速 160km/h 出す路線で知られている。しかし、乗っていてもどこで 160km/h を出しているのか分からないのが残念である。

はくたかは途中、減速を始めた。地形から見て中川大杉だった。小学生の頃、よく電 GO!をやっていたので、ここで対向列車と行き違いで停車と思った。列車は停まり、対向列車が来た。JR 西日本の 681 豆はくたかだった。対向も一旦停止し、再び発車した。

はくたかは平野を滑走し、直江津に着いた。早かったな。

### ■ 昼の直江津

半日ぶりに直江津に帰った。40分ほどの自由時間があったので、キオスクで昼飯を買ったり、写真を撮りたい。廃車になった 209 豆が留置されていた。仙台でも見た。2回目である。





200系ポケモン新幹線(高崎)



ポケモン新幹線側面(越後湯沢)



北越急行 683系(越後湯沢)



北越急行 HK-100系(越後湯沢)



183系妙高(直江津)



475系北陸色(直江津)



115系長野色(直江津)



JR西日本 681系(直江津)



廃車した 209系(北長野)

## ■ 再び長野へ

ここから妙高6号に乗って、長野に向かう。半日ぶりだ。そんなことより、普通列車なのに名称がついている。しかも車両が183系特急型車両の6両編成だ。なんとも不思議な列車だ。だからなのだろうか。冷房が効いているのに若干暑く感じる。弱めに設定されてあるようだ。

列車は二本木に着いた。あのスイッチバック駅である。対向列車との行き違いでしばらく停車した。その対向列車は妙高だった。対向列車が先に発車するので、スイッチバックの様子がよく見えた。そしてすぐに妙高6号は発車した。

乗車状況は8割方席が埋まっているという感じだ。長野に近づいていく度に乗ってくる。乗車率はいいほうだ。北長野を発車し長野までの間、長野総合車両センターの脇を通る。その長野総合車両センターに209系がいた。廃車回送で送られてきたものである。今回の旅で3回目。もう飽きた…。

これから長野から特急に乗し、中央本線の旧線を通って帰るというルートをとる。

長野 15:00～( **L特急(ワイドビュー)しなの18号** 名古屋行き )～15:51 松本  
松本 15:55～( 中央本線 普通 小淵沢行き )～16:23 岡谷

### ■ JR 東海の特急

長野から松本までワイドビューしなのを使うが、ワイドビューしなのの車両は383号というJR東海が開発した車両である。JR東日本管内を走る他社のJR車両の1つである。

ワイドビューしなの18号は後ろから6+2+2の10両編成で、自由席は前2両とわかりやすくなっている。前面は貫通式で、運転席とデッキ、デッキと客席内との窓が広がっているため、自由席でありながら前面展望が楽しめるいい車両である。一番前は埋まっていたので、その後ろに座ることにした。

15時ちょうど、定刻に発車した。383号はE351号スーパーあずさと同じ、振り子式車両である。前面を見ていると、傾いているのがわかる。振り子式車両はカーブ時の制限速度を上げるためにつくられているので、結構かっこいい。とにかく速い。

長野から離れてどんどん坂を上っていく。連続して坂があるので、スイッチバックの駅を通った。しかし、引込線は雑草で覆われそうになっていた。調べてみると、スイッチバックの信号所が最近いっせいに廃止になって使われなくなったと。今現役でスイッチバックを使っている駅は碓氷駅だけである。

### ■ 日本三大車窓

途中で日本三大車窓と呼ばれる地点を通ると車内放送が入った。それは碓氷駅の車窓であると後で調べてわかったが、放送では説明がなかった。それは、遠くの市街地が見渡せる風景だ。すばらしい風景だ。そんな風景がしばらく続いた。そして坂を上り続け、ついにトンネルに入って見えなくなってしまった。いい風景だった。

そして松本まで前面展望を楽しんだ。

### ■ 遅延発生!

松本に着く3分ほど前、車内放送で案内があった。電車が10分ほど遅れているとのこと。接続列車は大丈夫なのか?放送によると、接続はするが乗換時間はわかりにくい。それはよかった。遅延の原因は、対向列車のワイドビューしなのが遅れていたからだ。急いで乗り換えよう。

松本に到着した。階段が遠い。急いで乗り換え、そして全員乗り換えることができた。

# 9 しなのと岡谷と、時々遅延

## ■ 岡谷へ向けて

中央本線岡谷～塩尻間には旧線と新線が存在する。新線とは現在ではほとんどの中央本線の列車が通り、みどり湖という駅を通ることから、「みどり湖経由」と呼ばれている。一方、旧線とは辰野を通る、少し遠回りをしている。現在は岡谷～辰野間が飯田線の列車が通り、辰野～塩尻間は折り返し運転を行っている。「辰野経由」と呼ばれ、ムーンライト信州 83号は辰野経由で運転された。

接続の都合から、岡谷から回ることにした。ワイドビューしなのは塩尻から西側の中央本線に入るため、途中で乗り換える必要がある。そこで接続のいい松本で乗り換えようとしたところ、まさかの遅延であんなことになるとは…。

さあ、気を取り直して。車両は3両編成の115系長野色。ギリギリだったので、席は空いていない。まあ、しょうがないか。そして列車は塩尻に停車し、席が空いた。座ろうとし、カバンを鞆鞆に置こうとすると、飲み物ポケットから麦茶が落下。そして人に当たる。この舞だ〜!「すみません!すみません!」と謝った。今度の客は睨んだりはしなかった。まあ、よかった。

## ■ またですか!?

そんなこともあり、岡谷に到着した。1番線に到着し、辰野に行く豊橋行きは階段を下りて3番線から発車する。まだ来ていない。そして2番線に3両編成の115系長野色の松本行きが来た。発車すると思いきや、なかなか発車しない。鉄研部員の1人が松本行き電車の運転士に話を聞いたところ、岡谷の新宿方面1つ先の下諏訪との間で踏切事故が起こって電車が遅れているという。またか!また遅延か!岡谷発36分、辰野着46分、塩尻行き辰野発17時1分。岡谷を16時50分に出ないと間に合わない。仮に辰野で塩尻行きに接続しても、接続時間4分の帰りに乗るあずさに間に合わない。

残り時間20分ほど。「3番線に列車がまいります。」と来たのはスーパーあずさ。をみ!豊橋行きちゃうやん!しかも岡谷停車。扉が開いた。発車ベルが鳴る。その発車ベルが近所のスーパーの駐車場のブザー音と同じ。なんちゅうことだ。

さあ、果たして「辰野経由」旧線に乗車することができるのか!?次ページに続く。



383系しなの(長野)



日本三大車窓(姨捨付近)



115系長野色(岡谷)

10

あずさで帰ろう

SERIES  
E257  
since 2001

岡谷 16:36～(中央本線 普通 豊橋行き)～16:46 辰野  
辰野 17:01～(中央本線 普通 塩尻行き)～17:23 塩尻  
塩尻 17:27～(中央本線 **特急 あずさ 30号** 千葉行き)～19:34 八王子  
→立川 19:43→新宿 20:08→錦糸町 20:26→船橋 20:37→千葉 20:50  
(流れ解散)

### ■ JR 東海の車両

残り時間 10 分を切ったところで、豊橋行きの電車が来た。2 両編成の 119 号電車、JR 東海が所有している車両である。やっと来た。

早速乗車してみるも、鉄研部員のほとんどが前に固まって乗車したため、一番前の扉に集中してしまった。ワンマン運転だと思っていたけど、実際にワンマンじゃないし、仮にワンマンだとしたら先頭の 1 番後ろのドアから乗車が決まりなのに…。そもそも岡谷は有人改札だから、どこからでも乗れる。でも、まあいいか。

ということで、1 番前に集中して軽いウツシュが起こって、移動ができなかった。仕方なく前面展望を楽しむことにした。

やはり踏切事故の影響なのだろうか。辰野で豊橋行きから天竜峡行きになった。天竜峡から先へ行く人はどうするんだろう？そもそもいない！？

### ■ ミニエコー ～謎の電車～

辰野に着いた。1 両の電車が隣のホームにいた。辰野～塩尻間を往復する電車だ。需要がそれくらいということだろう。

車両は 123 号。郵便車クモロ 143 号を改造して作られた車両である。車両正面の真ん中に「ミニエコー」と書かれたプレートのようなものが貼り付けてある。ここに疑問点が出てくる。なぜふちにゴムがついているのだろうか？見た目は方向幕とは別物、プラ板と思われる。

そもそも「ミニエコー」ってなんなんだー!? なんなんだー!? なんなんだー!?

「ミニエコー」はナゾのまま、電車は発車した。123 号ワンマン列車、そもそも 123 号ってほかにいるのか？調べてみると、使わなくなった荷物車や郵便車を改造して、1 両でも走行できる電車として 13 両が誕生した。しかし、JR 東日本にいるのはクモロ 123-1、ただ 1 両しかいない。車内の壁は白、座席はペンクモケットのロングシート、ついでに茶色。うーん…、微妙。

踏切事故があったものの、無事に辰野を通ることができた。

そして、塩尻に到着。さあ、あずさに乗って帰るぞ！

## ■ 千葉行きのあずさ

あずさに乗って帰ろう。今回乗車するのはあずさ 30 号千葉行きである。普通のあずさは新宿発着であるが、1 日 1 往復だけ千葉発着が設定されている。あずさ 30 号に乗ろうと思ったのは、偶然次の電車があずさ 30 号だったというのではなく、鉄研部員の中に千葉県に住んでいる人がいるだろうと察して、あずさで帰るなら千葉行きにしようという優しい心使いである。

ただ、停車駅に問題があったのだろうか。顧問の調査によると、錦糸町、船橋、千葉でそれぞれ 1 人ずつ、残りは立川か新宿で降り、八王子はゼロだった。秋葉原に停車しないのも結構大きい。別にアキバだからというのではなく、上野・東京・品川へ行くには秋葉原から山手線で行く方が便利だからだ。この場合、新宿で乗り換えるのが 1 番便利である。だから秋葉原通過は結構大きい。

12 両編成のうち、自由席は 3 両。そのうちの 5 号車に乗った。雅博と一緒に座った。乗車率は 50% ほど。混んではいなかった。



119 系(辰野)



123 系(辰野)

## ■ 二度あることは三度ある

あずさ 30 号は快調に走る。小淵沢の手前までは…。

小淵沢の手前でいったん止まった。10 分弱して再び動いた。おっと、これは!? 遅延です。遅延が発生しました。しかも原因は小海線のほうだった。小淵沢～甲斐小泉間の信号関係故障で、接続待ちで 10 分ほど遅れているという。ただ帰るだけだったので問題なかった。むしろもっと遅れろと思った。だって楽しいじゃん。

その後もどれくらい遅れるか測ってみた。計測結果はこちら。

蕪崎 13 分、甲府 12 分、大月 14 分、八王子 14 分、立川 14 分。

結論: 12～14 分をキープしながら遅延をしました。

そのせいだろうか。小淵沢からだんだん混んできた。立ち席も出てきた。その立ち席客がデッキから客室のほうに流れてきて、むしろ客室に立ち席は普通になってきた。

そんなことはどうでもいいのかように、小淵沢で小海線のマスコットキャラクター(?)のやっぴー君を撮ったり、お菓子を食ったりして楽しんだ。



ミニエコー(辰野)



E257 系あずさ(塩尻)



やっぴーくん(小淵沢)

# 終章 旅を終えて……

## ■ アフターです。

乗車率 100%を超える中、立川で降りた。雅博は新宿で降りると言っていたので、ここで別れ。帰りのルートが同じ西島先生と帰った。帰りの電車で、このような旅行が初めての西島先生は「なんだかんだで楽しかった。」と。でもかみのやま温泉みたいに温泉に入れる時間はあったほうがいいとも言っていた。鉄道乗りっぱなしで疲れるのは誰でもそうだ。後輩の旅行姿を見てると、鉄道乗りっぱなしというのがほとんど。今後、旅行姿を考えると、入浴施設に立ち寄る時間も作ったほうがいい。いや、作るべきである。

8月6日、他用で都区内フリーパスを持っていたので、東京に行くことにした。あの忘れ物を取るに行くためである。東京駅忘れ物センターは八重洲の北側にあり、1番近い改札から地下街を通って3分ほどかかる。結構遠い。そこで充電器があるかどうか調べてもらうと、飯田橋にある警視庁忘れ物センターにあると言われた。ハナシチガウジャン! 現在時刻 16時40分、営業時間 17時まで。結構ギリギリであるが、行くしかない。ということで、飯田橋の警視庁忘れ物センターに行った。17時前に着いた。それからかざしてもらうこと約15分、見事充電器と再会。もう車内で充電なんかしません。反省します…。

## ■ 仲間と旅をすること

唐突ですが、1人で旅をしたことはあるだろうか。1人旅はそれなりに楽しいが、1人では寂しいとも思う。やはり仲間といるのが楽しい。仲間と共に旅をするのが一番いい。学校で話をするとは違う、非日常だからできる貴重な体験である。ただ、いつもそのような体験ができるかどうかは行かない。その時その時の体験を大切にしていきたい。

# 完



乗るぜえ～オブ・みのり おわり

【NEXT】 その時、Aコースは…。Aコースの全容が明らかに!